

日向市公共下水道事業計画 第3回市民検討委員会

資料. 1

令和5年8月22日

【次第】

- ①開会
- ②委員長あいさつ
- ③報告事項
- ④議事
- ⑤連絡事項
- ⑥閉会

下水道 みえないところで ファインプレー

(令和5年度 下水道事業 推進標語)



日向市 上下水道局 下水道課

本日の会議

【報告事項】

第2回検討委員会の会議概要

市民説明会・パブリックコメントの結果報告

【議事】

- ①下水道事業全体計画区域の見直し(修正案)
- ②提言書(案)

【連絡事項】

今後のスケジュール

【 報告事項 】

第2回検討委員会の会議概要

- ① 下水道事業全体計画区域の見直し(案)
- ② 合併浄化槽への転換促進
- ③ 補足事項（汚水処理人口普及率の目標設定）

持続可能な下水道事業の実現 ～次世代を支える下水道の推進～

人口減少等、社会情勢が大きく変化する中、
従来通りの取り組みでは、
将来の下水道事業の持続性を保つことは困難

対応策



- ① 計画区域・・・本委員会 下水道事業全体計画の見直し
- ② 共同化・・・異なる汚泥処理施設の共同処理による効率化
- ③ 使用料・・・「日向市公共下水道事業経営戦略」の改定

①公共下水道事業全体計画 区域見直し(案)

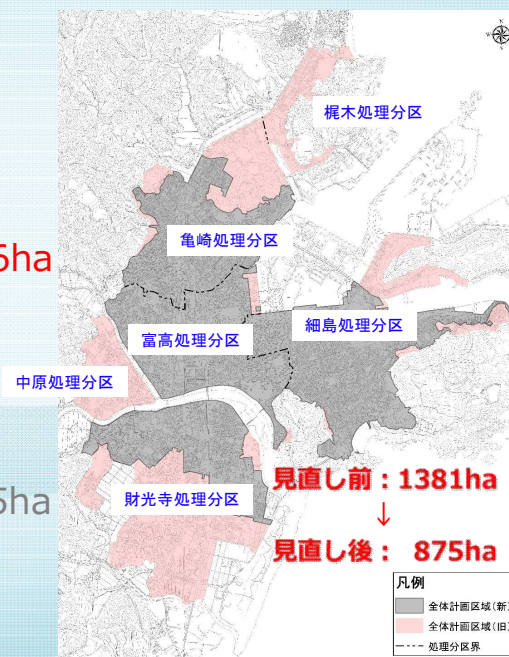
【具体的な提案】

現事業計画区域を全体計画区域とする。
 $875\text{ha} - 1,381\text{ha} = \blacktriangle 506\text{ha}$ (縮小)

①下水道事業全体計画区域の見直し(案)

全体計画区域(旧) :
下水道 ⇒ 浄化槽へ
変更となる区域 $\blacktriangle 506\text{ha}$

全体計画区域(新) :
引き続き下水道の区域 875ha



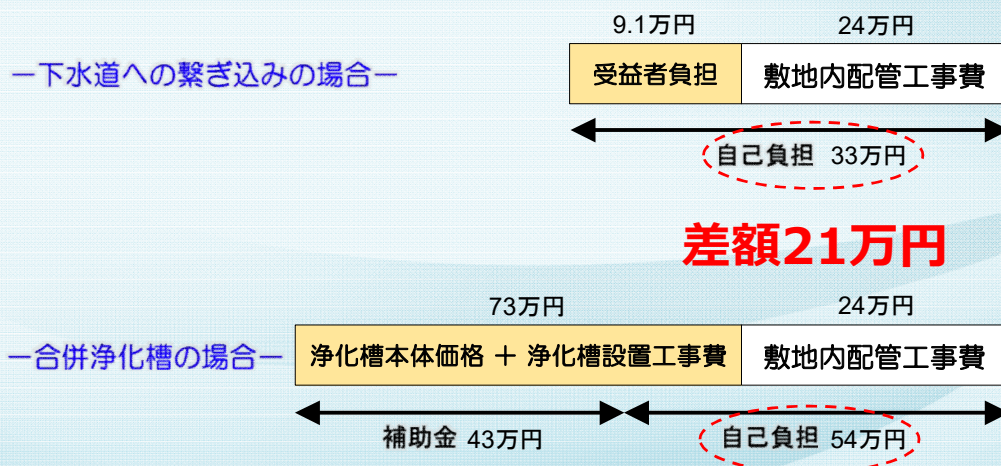
【報告事項】

② 合併浄化槽への転換促進

② 合併浄化槽への転換促進

◆日向市の水洗化にかかる費用（個人負担）◆

参考：宅地60坪（約200m²）の場合



※ 費用は、宅地・家屋の諸条件によって異なる。

② 合併浄化槽への転換促進

下水道繋ぎ込み・合併浄化槽維持管理費用の比較

◆ 下水道の場合(4人家族:20m³/月使用時)

基本料金550円＋使用量2,200円＝**2,750円/月**

◆ 合併浄化槽の場合(5人槽～10人槽)

保守点検	9,900円	} 37,900円/年	約3,150円/月
清掃料	28,000円		

※下水道は使用水量に応じて維持費用が増減します。

② 合併浄化槽への転換促進

～他自治体の取組事例～

市町村	転換補助金(千円)			宅内配管 補助金	撤去費用	維持管理 費用
	5人槽	7人槽	10人槽			
日向市	332	414	548	100	—	—
熊本県 熊本市	444	486	585	300	120(単独) 90(汲み取り)	—
山口県 宇部市	332	414	548	300 ■下水道全体計画を縮小した区域について は上記補助金に一定の割り増し 単独撤去のみ	120 単独撤去のみ	—
福岡県 久留米市	332	414	548	300	90	10,000円/年 (5年間)
長崎県 雲仙市	332	414	548	—	—	清掃費用 12千円/年 定期検査 5千～7千円/年
国の補助 基準額	332	414	548	300	120(単独) 90(汲み取り)	

③補足事項（汚水処理人口普及率の目標設定）

【参考】公共下水道の今後の整備における課題

【国の方針】

「令和8年度までに汚水処理人口普及率95%以上」として、

- 目標年次までに汚水処理施設に対する整備を完了させる。
(10年概成)
- 汚水処理施設整備の完了が見込まれない場合は、区域の見直しを図る。

下水道整備には多額の国庫補助金を活用して進めていますが、令和9年度以降の整備に係る国庫補助金是不透明となっています。

③補足事項（汚水処理人口普及率の目標設定）

汚水処理の在り方を見直すにあたり、第三次宮崎県生活排水対策総合基本計画(R3.3策定)の目標年次に合わせて、令和12年（2030年）において、本市の汚水処理人口普及率を92.7%に引き上げることを目指す。

		現況	概成年度	目標年度	推定値			備考
		R4度末	R8	R12	R17	R22	R27	
行政人口①		59,000	56,800	54,600	51,700	48,600	45,500	
下水道全体計画 区域人口(人)②	公共	34,800	32,120	31,080	29,660	28,150	26,600	
整備人口(人) ③	公共	34,040 (57.7%)	32,120 (56.5%)	31,080 (56.9%)	29,660 (57.4%)	28,150 (57.9%)	26,600 (58.5%)	
	農集	2,420 (4.1%)	2,140 (3.8%)	1,990 (3.6%)	1,840 (3.6%)	1,640 (3.4%)	1,470 (3.2%)	
	浄化槽	14,430 (24.5%)	16,390 (28.9%)	17,550 (32.1%)	18,670 (36.1%)	18,810 (38.7%)	17,430 (38.3%)	185件/年 2.1人/世帯
	計	50,890	50,650	50,620	50,170	48,600	45,500	
下水道整備進捗率 ④=③/②	公共	97.8%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
汚水処理人口普及率 ⑤=③/①		86.3%	89.2%	92.7%	97.0%	100.0%	100.0%	
宮崎県全体 汚水処理人口普及率		89.1%	92.1%	95.0%				

【報告事項】

市民説明会・パブリックコメントの結果報告

市民説明会の結果報告

日 時	会 場	参加人数
7/18（火） 19時～	切島山一区公民館	8人
7/20（木） 19時～	中央公民館 第4研修室	1人
7/25（火） 19時～	梶木公民館	4人
7/27（木） 19時～	幡浦公民館	15人
合 計		28人

パブリックコメントの結果報告

日 時	閲覧場所	件 数
7/18（火） ┆ 7/31（月）	市のホームページ 市役所下水道課 各支所窓口（4ヶ所）	0件

市民説明会の結果報告

①事業計画に関すること

意見等	市の見解
現在要望している土地区画整理事業が実施されれば、下水道も整備されると思っていた。	土地区画整理事業と下水道整備が一体で整備されるものではない。
雨水対策が喫緊の地域課題である。土地区画整理事業の要望、貯水池整備等、引き続き検討をお願いしたい。	今できることを実行しながら、今後もまちづくりの協議の場で意見交換をしていきたい。
仮に梶木地区に公共下水道を整備した場合、処理をするのは浄化センターになるのか。そこまで下水管を繋げられるのか。河川等もあるため、工事が大規模になるかと思われる。	中継ポンプ場を梶木地区にも整備し圧送することになるため、相当な規模の事業費になることが見込まれる。

市民説明会の結果報告

②費用負担の公平性に関すること

意見等	市の見解
合併浄化槽の維持管理費にかかる個人負担の補助等の検討はないのか。	維持管理費についての補助は現時点では考えていない。維持管理費と下水道使用料金との差額の観点では、下水道使用料金の改定に向けて検討を進めている。
災害に遭った際、合併浄化槽においては補修等が個人負担になる。下水道は市が行うとなると、さらに個人負担は大きくなると思われる。そのあたりも含めたシミュレーションはできないか。	下水道においては、管の継ぎ目等のズレや処理施設が被害を受けるなど、大規模な災害となると考えられる。シミュレーションに関しては、長期的な視点での検証が必要だと思われるため、有無を含め検討していきたい。
転換補助があるということだが、単独槽等を撤去する費用は補助が無いのか。	現行の制度としては無い。国の基準では補助があるため、拡充を含め検討していきたい。
合併浄化槽は、更新が必要であったり、維持費がかかる。転換補助だけではなく、維持費や更新費についての補助も考えてほしい。	合併浄化槽の更新等についても、委員会において検討していきたい。
下水道と合併浄化槽では、維持管理費の面で格差が生じるのではないのか。	下水道処理区と合併浄化槽区域との地域間格差は、検討委員会でも話に挙がっており、しっかりと検討していきたい。

市民説明会の結果報告

③合併浄化槽への転換等に関すること

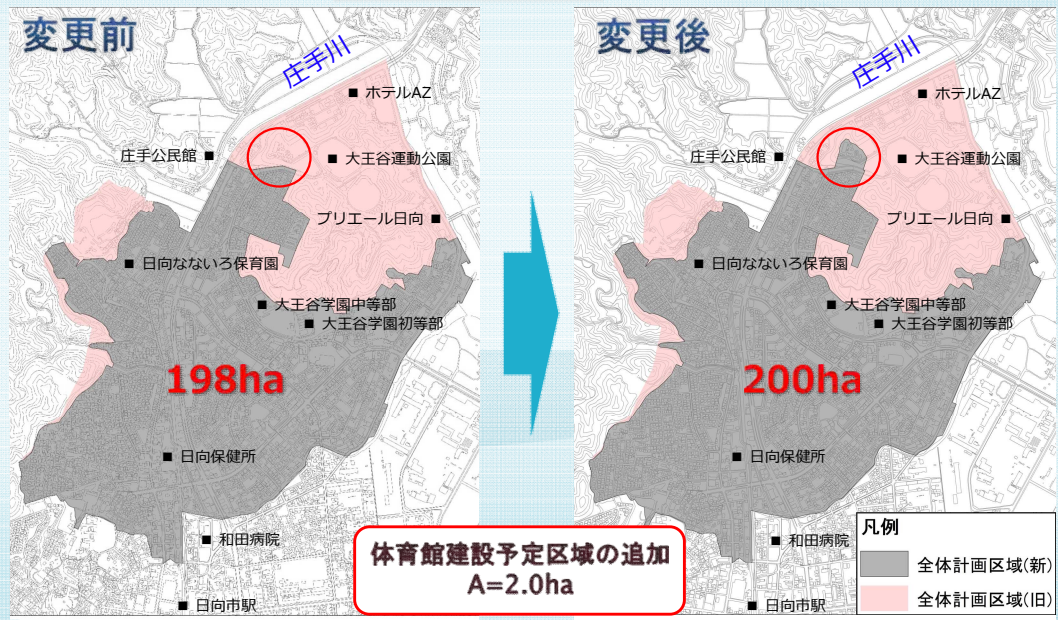
意見等	市の見解
合併浄化槽への転換のタイミングはいつなのか。強制的なものなのか。	費用負担も大きく、各家庭の事情もあるため、それぞれのタイミングにはなるが、市としては転換のお願いを今後もさせていただく。
合併浄化槽はしっかり維持管理されないと効果が出ない。市民の環境意識への向上が大事であり、適切な維持管理を行う必要がある。	合併浄化槽が正常に機能するには、適切な維持管理が必要であるため、啓発等により市民意識の醸成を図っていきたい。
合併浄化槽の転換を促進するのであれば、排水先の側溝整備が重要である。下水道を整備しなくなるのであれば、排水先の側溝や道路の整備等に関して、市道、県道、臨港道路などの管理者との連携が必要と思われる。	排水先の確認、必要な整備という視点をもって、他部署とも連携していきたい。

【議事】

①下水道事業全体計画区域の見直し(修正案)

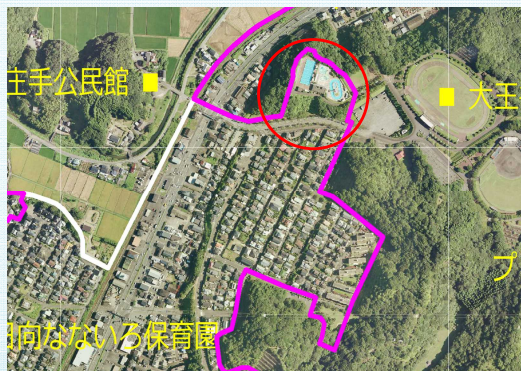
①下水道事業全体計画区域の見直し(修正案)

亀崎処理分区

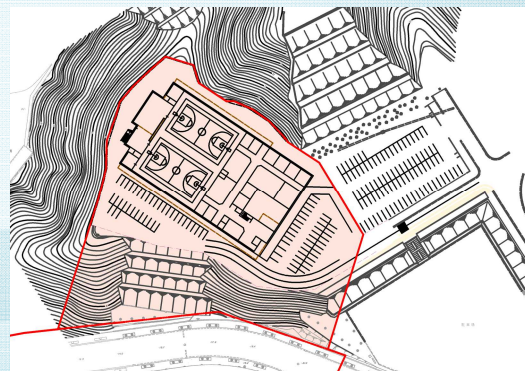


①下水道事業全体計画区域の見直し(修正案)

航空写真重ね図



体育館建設計画図



①下水道事業全体計画区域の見直し(修正案)

全体計画区域（旧）：

下水道 ⇒ 浄化槽へ

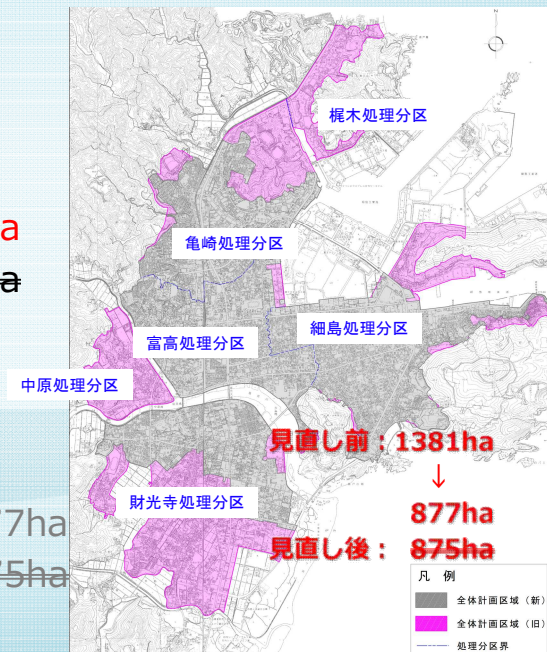
▲504ha

変更となる区域 ▲506ha

全体計画区域（新）：

877ha

引き続き下水道の区域 875ha



【議事】

②提言書（案）について

②提言書（案）について

提言書（案）の構成

1. 日向市の下水道事業の現状と課題

2. 委員会としての提言

提言1 公共下水道整備区域の見直しについて

提言2 公共下水道整備区域の見直しに併せての
合併処理浄化槽の転換促進について

提言3 公共下水道と合併処理浄化槽の初期費用
にかかる差額の軽減策

【連絡事項】

今後のスケジュール

今後のスケジュール

令和5年2月27日	第1回 下水道事業検討委員会 ・下水道事業の課題、市の方向性
令和5年5月22日	第2回 下水道事業検討委員会 ・全体計画見直し素案
令和5年7月18日 ～7月31日	市民説明会、パブリックコメント実施 (4会場)
令和5年8月22日(火)	第3回 下水道事業検討委員会 ・市民説明会結果報告 ・全体計画見直し修正案 ・市への提言書(案)の確認
令和5年10月10日(火)	第4回 下水道事業検討委員会(最終) ・市への提言書提出 ・市長との意見交換
令和6年3月中	都市計画決定(下水道)の変更

ご清聴ありがとう
ございました

